

しばれの森から

森林官業務日誌 No.2

積雪があるので、立木の根際をスコップで掘り起こします。



○平成26年3月5日(水) 雪 8:30(始業)
朝のミーティング実施後、支障木調査の現場へ向かいました。

9:00

支障木調査は、立木を伐採するときや丸太を運び出す際に妨げとなる木を調査するもので、樹種の判別、胸高直径(太さ)の計測、ナンバーテープの標示と極印の記号標示(樹木の根際を剥皮して押印)等の作業を行います。



胸高直径を計測しているところです。

12:00

(昼休み)

午前中の業務はこれで終了し、一旦、森林事務所に戻りました。

13:00

スキーを履いて現地に向かいます。



午後からは、貸付地(シカ防護柵用地)の実地調査のため、現場へ向かいました。

14:00

実地調査は利用状況や境界保全状況を確認するもので、周囲の境界標やシカ防護柵の設置状況を確認し、異常等がないか調査します。



シカ防護柵と境界標(赤色目印の立木のそばにあります)の状況です。

15:00



植栽したアカエゾマツの状況です。遠くには勲祿別管内の山並みが見えています。

今日の業務はこれで終了です。

天然林を伐採した後にアカエゾマツを植栽した箇所の状況を確認しました。植栽してから約15年経過し、樹高は5~7mに成長しています。

16:00

この場所は、天然林に育成複層林施業を実施し、様々な樹種による複数の樹冠を有する森林に造成しています。現在、上層木(背が高い木)が少ないので、これからの成長を期待している状況です。



17:15(終業)